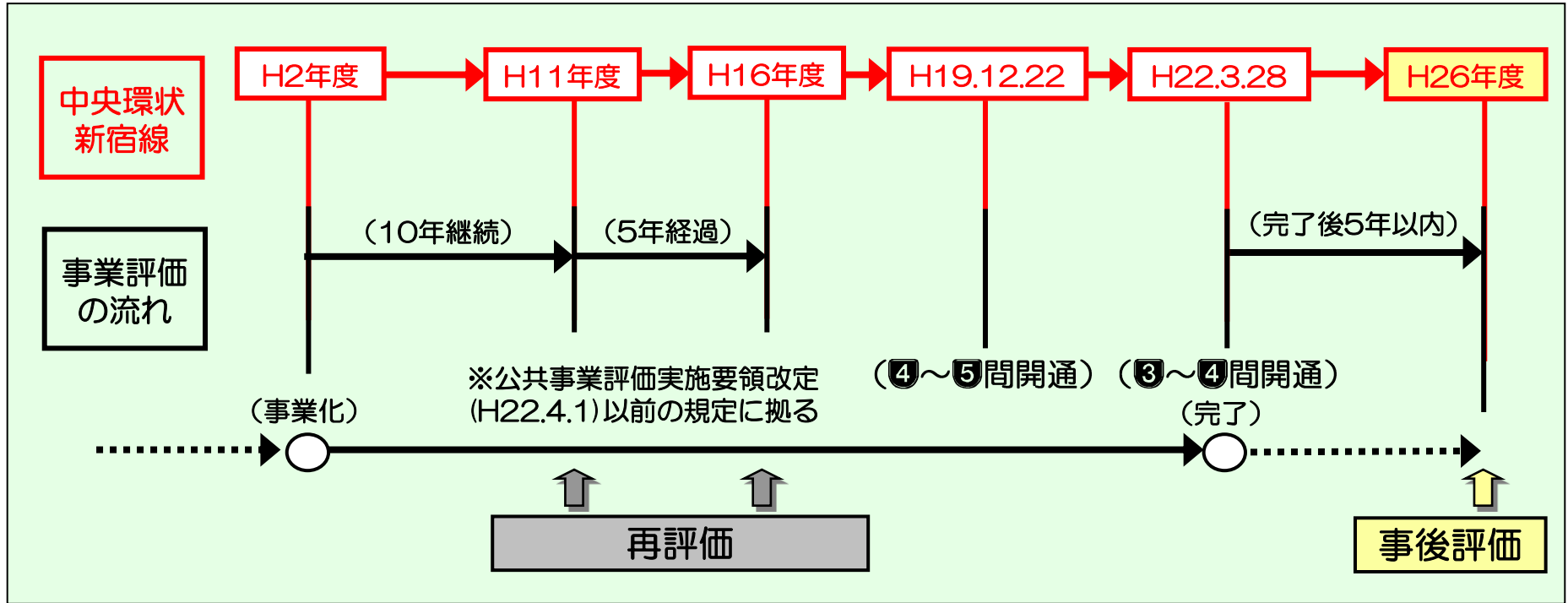


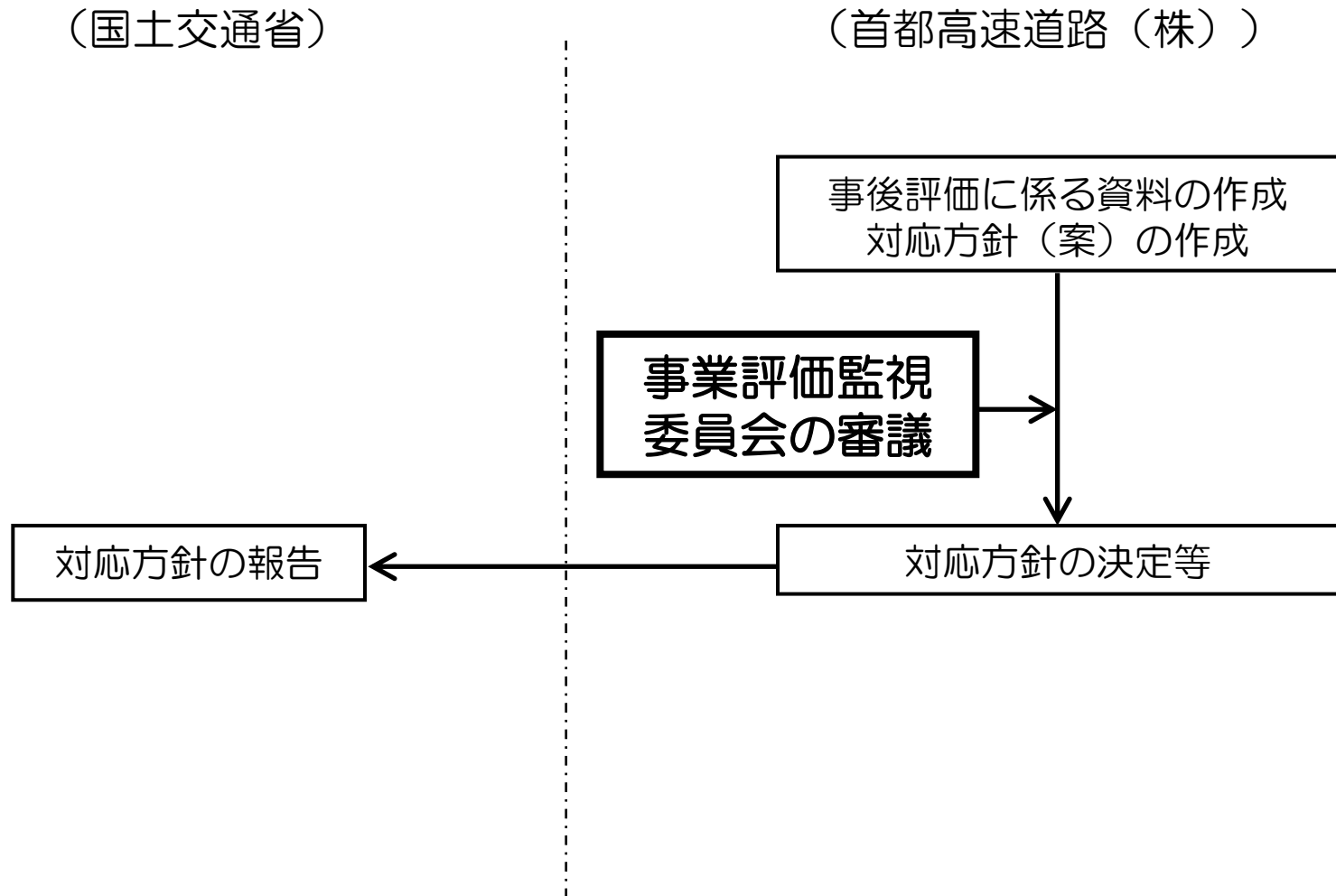
事業評価について

〈対象路線 評価の経緯〉

◇事業評価の流れ（公共事業(直轄事業等)）



事後評価の実施フロー



事後評価対象路線

路線名	延長	事業費	開通	備考
中央環状 新宿線	11.0Km	10,507億円	平成21年度 (H22.3.28) 平成19年 12月22日 西新宿JCT ～熊野町JCT 部分開通	平成16年度再評価： 「事業継続」とし、 事業を推進し、早期 整備を図る

本事業評価の前提条件

- 平成17年度道路交通センサスに基づく将来交通量
- 事業評価に用いる「費用便益分析マニュアル」(H20.11)

○ 将来交通量

- 平成42年の将来OD表を基に推計した交通量
- 将来OD表及び交通量推計手法は「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映

○ 費用便益分析マニュアル(H20.11)

- 便益および費用の現在価値算出のための社会的割引率：4%
- 基準年次：平成26年度(前回：平成16年度)
- 分析対象期間：供用後50年
- 車種別の時間価値原単位

乗用車 : 40.10円/分・台

バス : 374.27円/分・台

小型貨物車 : 47.91円/分・台

普通貨物車 : 64.18円/分・台